



# 赤生津地区 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【赤生津地区の農用地等面積】 360 ha

うち 【田】 298.4 ha 【畑】 60.9 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 312.9 ha)

・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 23.7 ha

・赤生津地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 99.3 ha

・主な生産品目： 水稻、肉用牛（肥育・繁殖）

(令和7年8月 26 日現在)

## 地域農業の課題

### 1. 基盤整備の未実施(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合)

- └ 小さい田が多く、形が不揃い・石や湿地がある
- └ 小区画圃場と狭い農道

### 2. 大型機械による効率化困難(第1区、第2区、赤生津中央地域活性化組合)

- └ 区画が小さく、農道・水路も狭い
- └ 均一な配水が難しい(水路が狭小・延長も長い)

### 3. 農業者の高齢化・後継者不足(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合、赤生津基盤整備促進委員会)

- └ 農用地の維持管理が困難
- └ 多くの農家が離農見込
- └ 耕作放棄地の増加懸念

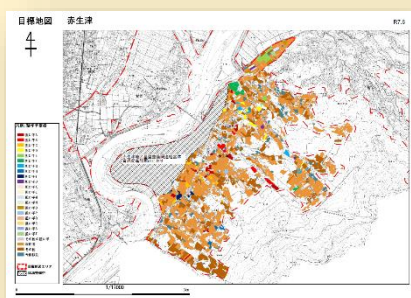
### 4. 除草など作業負担の増加(第2区)

### 5. 有害鳥獣(イノシシ・シカ等)による農作物被害増加(第2区、赤生津中央地域活性化組合)

### 6. 水稻作付実施率の低下と草刈負担増(第5区)

### 7. 住民・農業者の減少による地域力の弱体化

赤生津地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はあるですか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 地域農業の方向性

### 1. 継続的な農地利用・保全

- 中山間地域直接支払制度・多面的機能支払交付金の活用(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合)
- 担い手への集積・集約、日本型直接支払制度で営農が難しい農地の保全(全域)

### 2. 基盤整備・大区画化(赤生津中央地域活性化組合、赤生津基盤整備促進委員会)

- 農道・水路・区画拡大、暗渠排水等の効率化事業
- 基盤整備事業着工(R8 年度予定)
- 土地利用調整組織設立→農業生産法人への集積率 85%目標

### 3. 経営多角化とスマート農業導入(赤生津基盤整備促進委員会等)

- 水稻・畜産(肥育)複合経営
- 高収益作物の導入
- コスト削減・省力化(スマート農業)

### 4. 法人経営体確立と地域への定住者・後継者創出

- オペレーター型農業生産法人設立
- 農業経営の安定と生活環境・定住促進

### 5. 農地中間管理機構の活用

- 貸借時の機構活用
- 経営意欲・貸付意向の調整と面的集積

### 6. 鳥獣害対策・スマート農業・施設等(選択対応)

- 電気柵、防護柵、免許取得者増、情報共有
- 保全管理への日本型直接支払などの活用
- 共同作業施設・格納庫等の整備
- JA・県等の技術指導・人材育成

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

#### ■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

#### ▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室(TEL 0197-34-2371)

